

成田ともき ニュース

発行元 生駒市議会議員 成田智樹 〒630-0244東松ヶ丘7-1-306 TEL/FAX73-8313

生駒市議会9月定例会トピックス

▼議員定数4減の条例改正案を否決

4名の議員から、生駒市議会の議員定数を24から20に4削減する提案が出されました。改選まで残り半年と迫った時期に提出された削減案は「根拠が不明確で説得力に欠ける」「議会基本条例に定める定数変更手続きに則らず、市民意見も考慮されていない」等、批判的な意見が強く、反対多数により否決されました。（市議会公明党も反対しました）

▼10億6841万円の補正予算案を可決

レインボーラムネ採用によって増加した
寄付金1700万円を「ふるさと応援基金積
立金」に。また、南こども園整備事業費
1733万円、介護予防拠点施設整備事業費
1533万円等を認定しました。

▼生駒市平成25年度会計決算を認定

それに対し山下市長は、「新指針は金科玉条ではない。土砂災害警戒情報の発表は避難勧告等の発令の際に参考とする指標のひとつに過ぎない。土砂災害警戒情報の発表イコール避難勧告発令とする考えはない」と答弁しました。

具体的には「土砂災害警戒情報発表」を「避難勧告発令」の直接的基準と位置付けることを例示しており、本市もそれにならない、同警戒情報発表と同時に避難勧告発令を行うよう、基準を変更すべきであると提案しました。

今回、いまだに市長自身の意識改革が図られていない実情が明らかとなりました。今後も市民の生命を守るため粘り強く訴え続けてまいります。
(裏面に関連記事があります)

今年の夏は「平成26年8月豪雨」による各地の土砂災害浸水被害が連日ニュースで報じられました。なかでも8月20日未明に発生した広島市北部の土砂災害は死者74名を数え、過去30年間で最悪の事態となる大惨事となりました。

国や自治体は、これらの教訓を今後の防災・減災施策に反映させる責務があります。

成田ともきは、生駒市議会第4回（9月）定例会の一般質問及び所属の企画総務委員

会において、本年8月9日に県発表の「土砂災害警戒情報」により、本市として初めて設置した災害対策本部の運営状況及び本市の危機管理態勢について質しました。

あわせて現在、市が改定作業中の「生駒市地域防災計画」を適切に、また、国が示すガイドライン等に基づき整備するよう申し入れました。

特に、市長が行う「避難勧告」の発令基準については、昨年10月の伊豆大島の土砂災

害（死者36名）を受け、本年4月、内閣府は「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン（新指針）」を全面的に見直し、早めの勧告発令を促しています。



生駒市総合防災
マップも再確認！

成田ともきの提案

市民の生命保護のため、土砂
災害警戒情報発表と同時に
「避難勧告」を発令すべき

山下市長の見解

「同時に避難勧告発令」とする考えはない

広島市北部土砂災害の教訓を生駒市地域防災計画に確実に反映せよ

生駒市の防災・減災対策の整備充実を！



成田ともきの議員・議会活動レポート

① 9月定例会の一般質問及び企画総務委員会において「災害対策」他について質問しました（内容は要旨）

② 9月定例会において、市議会公明党は『「危険ドラッグ」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書』を提出。全会一致で生駒市議会として国に対し意見書を提出することを決定しました。（市議会ホームページをご確認ください）

③ 9月定例会の決算審査特委において、私の24年6月議会での一般質問を機に導入された、学校の災害用備蓄食糧について確認。現在、小学校にはビスコ、中学校には乾パンが生徒半数の1食分備蓄されています。

④ 10月5日（日）10時から東松ヶ丘集会所で開催された「ごみ説明会」に出席。来年春の家庭ごみ有料化の円滑な実施に向け課題等を確認させていただきました。



災害対策について

問

本年8月9日、「土砂災害警戒情報」発表を受け、市は「災害対策本部」を初めて設置した。翌10日午後3時の解散までの間、職員の非常参集、市民への情報発信等、円滑に対応できたのか。

答

災害対策本部立ち上げにより、全職員のうち約4分の1の職員の動員を命じたが、一部を除き参集しており、大きな問題はなく運営できた。今後、夜間の非常参集訓練の実施も検討する。市民への情報発信は市のホームページ等を使って

問

今回、生駒中学校と福祉センターを避難所として使用しないうと決定した理由は、そのことを近隣自治会に連絡しなかった理由は、今後避難所として利用できるのか。

答

2つの施設は共に土砂災害警戒区域にあるため、今回は避難所として使用しないことを決定した。また、市として避難勧告は発令していないため、自治会には連絡しなかった。なお、新しい地域防災計画では、2施設とも緊急避難場所として指定しない方向で

行った。今後、整備充実を図りたい。

問

現在改定作業中の土砂災害警戒情報の発表と同時に避難勧告発令を盛り込む考えはあるか。

答

土砂災害警戒情報の発令の際に参考とする指標のひとつに過ぎない。市として総合的に判断して発令すべきと考える。

「消費者教育の充実について」も質問しました。くわしくは会議録をご参照ください。

成田ともきホームページはこちらから

成田ともき

検索

自由自在

日本人3氏のノーベル物理学賞受賞が決定、2年ぶりの快挙に日本中が沸き立つ◆スマートフォン、信号機など身近な機器に活用されるLEDが、太陽光だけで発電できる極めて環境に優しい製品であることも誇らしい◆うるわしい師弟関係そして、窒化ガリウムにとことんこだわりの、3千回失敗してもあきらめない粘り強さも大いに見習いたい。（智）

『市民懇談会』を開催します

今年も市議会主催の「市民懇談会」を開催いたします。昨年と同じく、小グループに分かれての意見交換を「若者の定住化」をテーマに行います。ぜひお気軽に会場まで足をお運びください。

開催日	時間	会場
11月15日（土）	10時～12時	南コミュニティセンターせせらぎ
	14時～16時	北コミュニティセンターI STAはばたき
11月16日（日）	10時～12時	市役所4階大会議室